

広

報

お知らせ版

薩摩川内

広報さつませんだい
2015

No.255



4月17日(金)、本市と市内事業者などで独立電源型LED灯「スマコミライト」の設置完了を記念し、記念式典を開催しました。「スマコミライト」は、市企業連携協議会を中心とした18事業者と2学校により開発されました。太陽光発電と蓄電池を備えており、日没で自動点灯する仕組みです。市内に既に120基が設置され、「メイドイン薩摩川内」の製品第1弾として、今後は販路の拡大も目指しています。

独立電源型LED灯導入記念式典

「メイドイン薩摩川内」製品第1弾



4月6日(月)、入来麓地区で「入来ひまわり児童クラブ」の開所式がありました。これは、入来地域で初めての開設となるもので、町内全ての小学校から30人を超える児童の登録がありました。放課後や長期の休みに利用でき、古民家を活用した家庭的な雰囲気の中で、子どもたちが楽しんでいます。

入来

入来ひまわり児童クラブ開所

にぎやかに楽しんでいます



4月21日(火)、新設した「薩摩川内市ふるさと応援店」制度により、鹿児島市のかごつまふるさと屋台村内にある「SATSUMA」を第1号店に認定しました。この制度は、本市の特産品や観光などをPRしてもらうものです。同店では、樋脇町市比野の温泉水を使用した黒豚しゃぶしゃぶなどを提供しています。

第1号店 認定

薩摩川内市ふるさと応援店

4月9日(木)、本市で電子部品の製造を行っている植圃産業(株)との立地協定調印式が市役所本庁で行われました。自社工場内で原材料から製品まで一貫した生産を行えるように工場を増設するものであり、本市における新規雇用の創出が期待されます。



植圃産業(株)と
立地協定を締結



4月15日(水)、本市西方町出身の谷口紳一さんから、川内川の源流から河口までの橋や周辺風景が描かれた絵画(80点)の寄贈がありました。この絵画は、画集「橋のある風景」の原画で、市民になじみの深い太平橋や河口大橋のほか、平成18年7月の県北部豪雨水害で一部流失した久住橋なども描かれています。今後は企画展などを開催し、市民に広く公開します。



橋のある風景画

80点寄贈